

平成 18 年度環境省エゾシカ関係調査項目 (案)

| 目的 | 調査名 | 調査内容 | 調査区域 | 備考 |
|-----------------|------------------------------|--|--------------|--|
| 過去のエゾシカ採食圧把握 | 年輪分析によるエゾシカの森林植生への影響調査(補足調査) | 中小径木の年輪分析による過去の若齢木へのシカの影響の把握 | 岩尾別 | 継続調査 |
| | エゾシカの植生への影響把握 | 遠音別岳植生・エゾシカ採食圧調査 | 遠音別岳 | 標高帯毎に調査区を配置。石川委員ご提案による年次的な森林植生モニタリングの初年度。次年度は知床岳、知床沼方面を予定。 |
| 季節移動把握 | 知床半島沿岸希少植物群落捕捉調査 | 2005年度の海岸域における在来植物群落の分布調査の補足調査を実施する | 海岸線 | 継続調査 |
| | エゾシカ季節移動調査 | 標識個体のラジオテレメトリー調査による季節移動の把握 | 幌別・岩尾別 真鯉 | 継続調査 |
| 防鹿柵の効果把握 | 知床岬植生回復試験調査区モニタリング調査 | 3ヶ所の植生回復試験区と対照区のモニタリング | 知床岬 | 継続調査 |
| | ウトロ市街地鹿柵効果把握 | 防鹿柵の効果検討調査 | ウトロ | |
| 密度操作実験 予備調査等 | 知床岬シカ密度操作実験の予備調査 | 岬での捕獲手法の検討。新規モニタリング試験区の検討。航空センサスと自然死個体分析。 | 知床岬 | |
| | ルサ・相泊地区シカ密度操作実験の予備調査 | エゾシカ個体群モニタリング手法の検討(羅臼町ライトセンサスの活用は可能か)、植生調査の手法に関する検討、捕獲方法に関する検討 | ルサー相泊 | |
| | 真鯉地区シカ密度操作実験の予備調査 | 真鯉地区シカ密度操作実験の予備調査 植生モニタリング手法の検討 | 真鯉 | |
| | 岩尾別地区シカ密度操作実験の予備調査 | 岩尾別地区シカ密度操作実験の予備調査 植生モニタリング手法の検討 | 岩尾別 | |